



タカハシ氏・タカガキ氏

概要

◆氏名・所在地

タカガキ エリオ タケシ 氏、
タカハシ エドアルド トシオ 氏 沖縄県国頭村

◆就農年

令和5年8月

◆事業内容

就職先の株式会社フローヤんばるファームにて、パインアップルの生産と販売に取り組む。



1 就農相談までの背景

タカガキ氏とタカハシ氏は共に、ブラジル出身で20年前に来日した。タカハシ氏は愛知県にてポスターやチラシの制作を自営業で行っていたが、コロナ禍による業績不振や冬の寒さなどをきっかけに、温暖な沖縄に移住してキャッサバやバナナ等の農作物を作って生活することを決めた。インターネットで「沖縄県農業経営・就農支援センター（以下「支援センター」という。）」の存在を知り、電話で相談したところ、親切に対応してもらったので、義理の父であるタカガキ氏と共に家族5人で支援センターを訪れた。

2 相談内容

温暖な沖縄に移住してキャッサバを栽培しながら生活したいという漠然とした希望はあるものの、農業の経験や技術は全くなく、親戚などもない状況で家族全員で移住し生活していくことが不安であった。また、住む場所や生活費の確保、農業技術習得の方法、子どもの学校、農地の確保など多くの問題があり、支援センターによるアドバイスを求めた。

3 支援内容

●住居の確保・子どもの教育

移住による新規就農のため、①住居の確保、②生活費の確保、③技術習得、④子どもの教育、⑤農地の確保の5つの課題をクリアできる可能性のある市町村として国頭村を就農専属スタッフが紹介し、それぞれの課題に対する支援を行った。

また、子育てには最適な地域である国頭村安波区の区長に依頼し、区が管理している宿舎を紹介いただいた。

●自営就農のための農地確保

国頭村農林水産課の担当職員と面談し、技術習得後の農地輪旋や青年等就農計画の認定申請、各種助成事業受給等の支援を依頼した。



国頭村安波区長との相談

●生活費や技術習得のための就業先紹介

国頭村の隣接村でパインアップルを生産している株式会社フローヤんばるファームとマッチングを図り、雇用就農につなげた。

●移住不安を払拭する支援

県内のブラジル出身就農者である野菜栽培農業者U氏と、キャッサバ栽培やスイーツ店の経営を行っているR氏を紹介し、先輩就農者として沖縄での農業や生活事情等を話してもらい、今後の参考となる助言をもらった。



国頭村農林水産課の職員との面談

今後の意気込み

初めての地域に家族全員で移住し農業で生活していくことに大きな不安がありましたが、支援センターの就農専属スタッフや先輩就農者、役場職員、区長、雇用先の社長など多くの方々に支えられ、無事生活基盤を整えることができました。パインアップルの栽培技術も徐々にですが習得でき、将来の就農に自信が出てきました。私たち家族を支えていただいた関係者の皆様方に感謝しております。

専属スタッフ所感

支援センターには、県外から電話等で多くの就農相談が寄せられます。農地確保の面から就農に至る事例は少ないですが、今回の事例では常日頃からの情報収集活動を上手く組み合わせ、技術習得のための雇用就農までこぎ着けることができました。今後も就農・定着に向けて、市町村や普及指導センターと連携して支援を継続していきます。